

Interview : ポリウレタンのように変化に強い企業を目指す！



中四国営業課の田路(トウジ)です。

事業承継を契機に、現在進行形で社内改革を実施している、樹脂製品製造業(ポリウレタン成型品)のマルモポリマー株式会社様にて金塚社長にお話を伺いました。ものづくり企業もサービス業も取り組むべき“課題”は同じです。今月号ではその一例をご紹介します。

マルモポリマー株式会社様 (岡山県)

田路:会社について、簡単に教えてください！

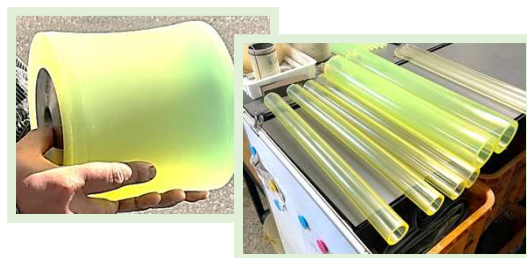
金塚:ポリウレタンの製造・加工を得意としています。長年の経験と技術を活かし、多様なニーズに対応した製品を提供してきました。今では売り上げの90%以上がポリウレタン製品なんですよ。

田路:ポリウレタンってあまり聞き馴染みがないんですけど、どんな製品に使われているんですか？

金塚:ゴムのような反発力と弾性力を持ち、とても万能な素材なんです。実は衣類や家具など、身の回りのものにもけっこう使われているんですよ(笑)。うちでは、ベルトコンベヤのローラーや、緩衝材の役割を担うパイプなど、産業の現場を支える製品が多いですね。

田路:へえ～、ポリウレタンって奥が深いんですね。では、仕事の中にやりがいを感じるのはどんなときですか？

金塚:やっぱり、お客様のご要望にピタッと応えられたときですね。「こういう製品が欲しい」というリクエストに対して、試作を重ねて最適な形にできたとき、「ものづくりって楽しいなあ」と感じます。



▲ 左:コンベヤローラー、右:緩衝用パイプ



◀ 加工作業風景

▼ 和気藹々とした職場



田路:昨年、新たに代表取締役役に就任されたそうですね。今はどのようなビジョンを描いていますか？

金塚:製品の強化はもちろんですが、「人」と「環境」を大切にしたい会社づくりを目指しています。社員が安心して働ける環境を整えることで、変化の激しい時代にも柔軟に対応できる組織をつくっていききたいです。

田路:そのビジョンの実現に向けて、どんな取り組みを進めていますか？

金塚:まずは、新しい事務所兼工場を建設し、作業環境の改善からスタートしました。ポリウレタン製造時に発生する有害物質への対策を強化し、社員の健康と安全を守れる体制を整えました。また、社内システムの刷新や、CO₂排出量を「見える化」するツールの導入など、デジタル化にも積極的に取り組んでいます。他にも、暑さ対策の実施やホームページの開設など、小さなことからコツコツと改善を重ねています。

田路:地道な努力、素晴らしいですね！将来的にはどのように会社を成長させていきたいですか？

金塚:そうですね。社内環境が整ったことで、若手も前向きになり、社内に活気が出てきたなど。こうした変化が地域の活性化につながれば嬉しいです。会社の存在感が広がっていくことで、地域の方々にも良い影響を与えられるようになればと思っています。

田路:本日はありがとうございました。同じ岡山出身の身として、思わず胸が熱くなりました...



◀ 新事務所兼工場

会社名:マルモポリマー株式会社
住所:岡山県瀬戸社名内市邑久町福谷1304
電話番号:0869-25-0984
会社HP:<https://marumo-p.jp/>



当社HP	Youtube	CO2比較.com	Instagram	公式LINE
ゼロプラスの歴史や事業内容についてチェック 	当社の会社紹介や脱炭素セミナーの様子をチェック 	脱炭素の情報はこちらをチェック 	インスタグラム始めました！ 	補助金・脱炭素などのお役立ち情報を配信！ 

問い合わせ先
 〒 664-0858
 兵庫県伊丹市西台1-5-7 2F
 TEL 072-764-5340
 FAX 03-6800-5265
 Mail info@zero-plus-consul.co.jp

大阪どてらい市にゼロプラスとして出展いたします！

2025.7/4(金)5(土) インテックス大阪6号館(A,B)・4号館

10:00AM~5:00PM

大阪市住之江区南港1-5-102

インテックス大阪で開催される「大阪どてらい市」にゼロプラスとして出展します！

地球温暖化や資源枯渇など、企業を取り巻く環境問題は待ったなしの課題。同時に、こうした取り組みを後押しする補助金制度も数多く存在します。

当社ブースでは、お客様の事業に合わせた具体的な環境対策ソリューションと、最新の補助金情報について担当が丁寧にご説明いたします。

ご多忙の折とは存じますが、ぜひ当社ブースまでお越しください。皆様のご来場を心よりお待ちしております！



ゼロプラス申込フォーム



弊社申込フォームから登録されましたら、別途弊社より来場者事前登録フォームをお送りいたします。
 事前来場登録後、登録確認メールが届きます。入場用QRコードをダウンロードいただき、出力もしくは画面を受付にご提示ください。



1Up Column 第9回 インフレ時代の財務戦略(タックスマネジメント編)

経営力向上計画では取得設備の即時償却か税額控除が選択できます。前者は設備取得年度の節税効果こそ高いものの課税の繰り延べであり、手堅い税負担軽減を望む事業者は後者を選択します。しかしインフレはこの判断に影響を及ぼす可能性があります。

デフレでは時間とともに価格が下がるため、資産購入をなるべく遅らせるのが合理的ですが、インフレでは資産をなるべく早く購入し、事業拡大に活用するのが合理的な判断となります。ゆえに、そのためのキャッシュを持つことが重要です。ここで冒頭の即時償却の利点が活かされます。設備投資を行った事業年度に即時償却を活用して税負担を軽減できれば、資金繰りは楽になり、必要なものを高くなる前に購入する資金余力が生まれることとなります。

我が国では租税負担を、事業に付随してルーティンで発生する責務と見做して受忍する傾向が強いですが、しかしこれを事業のコストとして捉えれば、税前利益の4割もの税負担は極めてインパクトの強い経費と捉えられます。インフレで資金余力の重要性が高まる中、適切なタックスマネジメントで税負担を軽減し、キャッシュフローを改善する必要性が高まっているといえます。

代表から一言

いよいよ今年も夏がやってきました。6月時点での長期予想では80%の確率で平年より暑い夏になるそうです。一昨年、昨年と2年連続で地球全体の気温が過去最高でした。日本も暑かったですよね。地球温暖化の原因が二酸化炭素であるかわかりませんが、温暖化していることは歴然とした事実です。

温暖化が進むと、消費者向けにおいては環境配慮型商品の売れゆきが高まります。環境配慮型商品であると宣伝するにはサプライチェーン全体の環境対応が国際的なルールです。これから気温上昇が続けば、中小製造業においても環境対応経営は必須です。

同時に現場での熱中症対策にも力を入れていかないと、熱中症リスクは上がるばかりです。ゼロプラスでは環境に優しくとても涼しい井戸水空調などご紹介していますので、すでに井戸水を利水している方はぜひお問合せください。



株式会社 **ゼロプラス**
ZEROPLUS Co., Ltd